

七小校長室便り

国立市立国立第七小学校

校長室便りNo.6 令和3年(2021)2月12日

6年生、ありがとう!・・・展覧会の準備が進んでいます

10日は展覧会の会場設営日でした。1校時、体育館に集合した6年生は、図画工作専科の伊藤先生の説明を、本当に一言も話さず真剣に聞き作業を開始。実は、本校での展覧会は、あちこちに収納してある機材や授業で使用しているテーブル類を体育館に集めるところから始まります。とても地道な作業で、まさに「縁の下の力持ち」といった感じなのですが、彼らは本当に一生懸命働いてくれました。「人のためになるということが嬉しい」と考えている子が多いことを担任から聞きました。

例年だと会場に待機して作品の説明をする「子供学芸員」の仕事も、本年は動画でお届けすることになりましたが、機会があればぜひ、6年生に励ましのお言葉をかけていただきたいと思います。

さて、展示される作品はどの作品もその子の個性が表れ、ほほえましい気分になったり、思わず唖ったり、と、観る人の心を豊かな気分にしてくれます。暖房も入るようになり、ちょっぴり環境もよくなった『七小美術館』で、すてきなひとときをお過ごしください。19、20日、お待ちしております。

本物に親しむ・・・4年生がフロのサクソ演奏を聴きました!

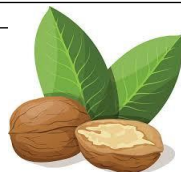
芸小ホールの「公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)」の一環で、サクソフオンのカルテットの方々がミニコンサートを開いてくださいました。

サメを釣りに行った人をテーマにした曲を演奏後、サメが釣れたか釣れなかったかを子供たちから自由に出させるようなワークショップを通して、同じ曲を聴いても連想するイメージが人それぞれ違い、だからこそ楽しいんだ、ということ、すてきな演奏を通して教えてくださいました。

コンサート冒頭、一曲目の前奏が流れた瞬間に「あ、校歌だ」と子供たちは口々に言いました。演奏する楽器が変わると雰囲気も変わり、しかも今年度、1度も全体では歌っていないのですが、それでも七小の校歌を忘れず大事に思ってくれていることに感激しました。早く晴れ晴れと歌える日が来ますように!



「くるみ学級」に決まりました!



来年度開設される特別支援学級(情緒しょうがい等)の名称は、市教育委員会とも協議の上「くるみ学級」に決定しました。くるみの木言葉は「豊穰・強さ・あなたは必要とされる」とのこと。また、くるみはギリシャ語でカリヨンと呼ばれ、知性、頭脳を意味するそうです。国立第二小学校の特別支援学級プラタナスとも「木繋がり」です。

くるみ学級の開設に伴い、本校は現在のはばたき(拠点校)、ことばの教室とともに特別支援教育の資源が更に充実することになります。国立市教育大綱に「しょうがいのある児童・生徒も、しょうがいのない児童・生徒も同じ場でともに学び、相互に成長できるフルインクルーシブ教育を目指す」との項目がありますが、このあり方を実践的に発信する役割も担っていきます。

ぜひご提出をお願いします

一教育アンケート

例年とは全く違う教育活動を強いられた令和2年度でしたが、6月に登校を再開してからは、再び休業することなく年度末を迎えることができました。

ここで、保護者の方に本年度の本校の教育活動についてご感想をいただき、成果のあったこと、改善する必要があることを教職員で共有したいと思います。締め切りは本日でしたが、まだお手元にある方はぜひ、月曜日にご提出いただければ幸いです。なお、評価ができない、分からない項目は空欄で結構ですので、お一人でも多くの方のお声をお聞きできるよう、よろしく願いいたします。

来年度の行事についてのお知らせ

令和3年度の教育課程を編成し、大きな学校行事の予定日がほぼ定まりました。年間の行事予定を掲載した表については、今後開催する1年生から5年生までの保護者会で配布いたします。行事内容の詳細につきましては、例年とは違う対応が必要なものもありますので、決定し次第お知らせいたします。運動会は5月開催ですが、感染症対策・熱中症予防のために時間を短縮する方向で検討しています。